

平成 26 年度活動報告 -平成 27 年 04 月 24 日(金)-

庶務担当 齊藤雅一

1. 総会関係

平成 26 年度総会を平成 26 年 04 月 25 日(金)、株式会社堀場製作所 2 階会議室にて 17:30~18:30 の時間帯で開催した。来賓として日臨技会長の宮島喜文様、私立医大技師長会会長の上道文昭様にご挨拶をお願いした。議長は昭和大学藤が丘病院の矢澤直行技師長をお願いした。参加人数は 29 名であった。

2. 研修会関係

(1)学術講演会を平成 26 年 04 月 25 日(金) 総会終了後に 18:30~19:30 の時間帯で開催した。「医療安全に対する医療機器製造販売業者の取り組みについて -患者様の安全を守る取り組み-」と題して日本光電工業株式会社の稲井隆氏に講演をお願いした。生理機能検査機器のメンテナンスや修理対応等についての内容で、興味深いものであった。参加人数は 29 名であった。

(2)第 32 回学術研修会を平成 26 年 11 月 1 日(土)、株式会社堀場製作所 2 階会議室にて 10:00~16:30 の時間帯で開催した。メインテーマは『「私立医科大学病院」発！ -臨床検査技師の未来像を考える-』で、午前は各大学病院の検査技師による 8 題の一般演題発表を実施した。

ランチョンセミナーは「検査前過程の精度保証における採血業務の重要性」と題して積水メディカル株式会社の市原文雄氏をお願いした。標準採血法や検査前の検体処理の重要性等についての内容であった。

午後のシンポジウムは 13:00~15:00 の時間帯で「臨床検査技師の未来像」と題して 4 名のシンポジストに①アンケート調査によるトラブル・クレームなどの事例とその対応策について、②検査説明のできる臨床検査技師、③微生物検査検体の採取に関する教育、④救急検査技師認定制度について、をお願いした。検査技師が今後、取り組んでいく活動内容で参考になるものばかりであった。

次に、15:30~16:30 の時間帯で関西医科大学臨床検査医学講座主任教授である高橋伯夫先生に「私立医科大学病院発、臨床検査技師の未来像」と題して特別講演をお願いした。ISO15189 や外来迅速検体検査加算等について話され、私立医大技師会は国公立に先駆けて活動の場を開拓すべきであると強調された。参加人数は 88 名であった。

(3)若手技師を対象とした研修会を 3 回(9 月、11 月、3 月) 開催した。平成 26 年度は生化学検査の基礎的な内容について実施した。

3. 会誌『KAMERADEN』の発行

『KAMERADEN』は 59 号(第 32 回学術研修会抄録集との合併号)を平成 26 年 10 月に、60 号を平成 27 年 03 月に発行した。

4. 会議関係

会議は理事会を 9 回、編集委員会を 2 回開催した。なお、詳細はカメラデン掲載の議事録を参照して下さい。

5. その他

経費節約としてカメラデン 59 号と学術研修会抄録集を合併号とした。また、会員の意見を取り入れて技師会の向上を図るため、ホームページを作成し、活動内容を表示した。更に、学術研修会の一般演題発表において優秀演題賞を設けるとともに、ランチョンセミナーを実施し、多くの検査技師が参加出来るよう工夫した。